

令和4年度病害虫発生予察特殊報第1号の発表について

このことについて、次のとおり発表したので送付します。

令和4年度 香川県病害虫発生予察特殊報 第1号

1. 病害虫名： タバコノミハムシ (*Epitrix hirtipennis* (Melsheimer))

2. 発生作物： ナス、ジャガイモ

3. 発生地域： 中讃地区

4. 発生経過

令和4年6月下旬に中讃地区のナス栽培圃場およびジャガイモ栽培圃場において、葉を食害するハムシ類の成虫が確認された(写真1)。

農林水産省神戸植物防疫所に同定依頼したところ、本県ではこれまで未確認のタバコノミハムシであることが判明した。

5. 国内の発生状況

本種は、中央～北アメリカを原産とする外来種で、寄主植物としてタバコ、ナス、トマト、ジャガイモ、ホオズキ等のナス科作物が報告されている。国内では、タバコへの被害は未確認で、ナス、トマト、バレイショ、ホオズキ等の農作物での被害が報告されている。

国内では、平成23年に群馬県において初めて発生が確認され、その後、関東・東海地方を中心に分布拡大した。令和元年以降は、近畿、中国地方等を中心に確認され、これまでに計22府県から発生が報告されている。

6. 形態および生態

成虫は体長1.5～2.5mm、体型は長楕円形でやや扁平であり、密な短刺毛に覆われる。体色は、やや光沢のある赤褐色で、上翅には不明瞭な黒斑を持ち、後腿節は顕著に肥大している。

7. 被害の特徴

本種の成虫は、葉の片側の表皮を残して葉肉を食害したり、葉を貫通して食害する。このため、表皮を残して広く食害された痕や、直径1～2mm程度の多数の小さな白い点状の食害痕や丸い穴が観察される(写真2)。

8. 防除対策

(1) 令和4年7月現在、ナス、ジャガイモにおいての本虫に対する登録農薬はない。

なお、本虫は、主に減農薬、無農薬栽培の圃場で発生が確認されており、通常の薬剤防除を実施している圃場での被害の発生はほとんど確認されていない。

(2) 近隣のナス科植物への移動を防ぐため、本種に加害された作物は、栽培終了後、速やかに残渣を処分する。



写真1 タバコノミハムシ成虫



写真2 ジャガイモの被害葉 (右：拡大)

病害虫防除所インターネットホームページ

URL: <http://www.jppn.ne.jp/kagawa/>

